

◇新生児聴覚スクリーニング検査について

<p>1 目的</p>	<p>新生児期において、先天性の聴覚障害の早期発見と早期療育支援を目的として、聴覚検査を行う。</p>
<p>2 実施状況等</p>	<p>(1)新生児聴覚スクリーニング検査実施状況(別紙)</p> <p>◇実施医療機関数は 20 施設</p> <p>*H24 年度から実施医療機関(大和高田市立病院、奈良社会保険病院、赤崎クリニック)</p> <p>◇実施率は 46.7% (5132 人/10989 人)・・・H24 年調査による</p> <p>要再検率 1.5% (78 人/5132 人)</p> <p>要精密検査率 0.3% (15 人/5132 人)</p> <p>◇実施方法</p> <p>ABR 11 施設で実施 (55% : 11/20 施設)</p> <p>OAE 8 施設で実施 (40% : 8/20 施設)</p> <p>OAE 実施後 AABR 実施 1 施設</p>
<p>3 実施後の評価等</p>	<p>新生児聴覚スクリーニング検査の実施状況を把握するため、医療機関からの報告によりデータの収集をし、関係者等と評価を行う。</p> <p>実施状況の把握は、県分娩取扱い医療機関実態調査(1月～12月状況)に時期にあわせて実施予定。(毎年3月頃実施)</p>